

演習問題 2.1 命題 2.2 を証明せよ。

(1),(3) は講義で示している所以他を示す。 $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \\ u_3 \end{pmatrix} = (u_i), \mathbf{v} = \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \\ v_3 \end{pmatrix} = (v_i)$ 等の記号

を採用する。

$$(2) \mathbf{u} + \mathbf{v} = (u_i) + (v_i) = (u_i + v_i) = (v_i + u_i) = (v_i) + (u_i) = \mathbf{v} + \mathbf{u}$$

$$(4) \mathbf{v} = (v_i) \text{ に対し } \mathbf{v}' = (-v_i) \text{ と置くと } \mathbf{v} + \mathbf{v}' = (v_i) + (-v_i) = (v_i - v_i) = (0) = \mathbf{0} \text{ となる。}$$

$$(5) \alpha(\mathbf{u} + \mathbf{v}) = \alpha((u_i) + (v_i)) = \alpha(u_i + v_i) = (\alpha(u_i + v_i)) = (\alpha u_i) + (\alpha v_i) = \alpha(u_i) + \alpha(v_i) = \alpha \mathbf{u} + \alpha \mathbf{v}$$

$$(6) (\alpha + \beta)\mathbf{v} = (\alpha + \beta)(v_i) = ((\alpha + \beta)v_i) = (\alpha v_i + \beta v_i) = (\alpha v_i) + (\beta v_i) = \alpha(v_i) + \beta(v_i) = \alpha \mathbf{v} + \beta \mathbf{v}$$

$$(7) (\alpha\beta)\mathbf{v} = (\alpha\beta)(v_i) = (\alpha\beta v_i) = (\alpha(\beta v_i)) = \alpha(\beta v_i) = \alpha(\beta(v_i)) = \alpha(\beta \mathbf{v})$$

$$(8) 1\mathbf{v} = 1(v_i) = (1v_i) = (v_i) = \mathbf{v}$$

演習問題 2.2 例 2.5 の例がベクトル空間になる事をチェックせよ。

和とスカラー倍が定義され定義 2.6 の 8 つの性質を満たす事を調べればよい。ここでは最後の (13) のみ示しておく。

関数 y_1, y_2 の和は $(y_1 + y_2)(x) = y_1(x) + y_2(x)$ で定義されていた。 $y_1, y_2 \in V$ に対し $y_1 + y_2 \in V$ を示す。 $y_1, y_2 \in V$ より $y_1'' - y_1' - 2y_1 = 0$ 及び $y_2'' - y_2' - 2y_2 = 0$ が成立している。 $(y_1 + y_2)'' - (y_1 + y_2)' - 2(y_1 + y_2) = y_1'' + y_2'' - y_1' - y_2' - 2y_1 - 2y_2 = (y_1'' - y_1' - 2y_1) + (y_2'' - y_2' - 2y_2) = 0 + 0 = 0$ となるので $y_1 + y_2 \in V$ となる。

関数のスカラー倍は $(\alpha y)(x) = \alpha y(x)$ で定義されていた。 $y \in V$ のとき $(\alpha y)'' - (\alpha y)' - 2(\alpha y) = \alpha y'' - \alpha y' - 2\alpha y = \alpha(y'' - y' - 2y) = \alpha \cdot 0 = 0$ となるので $\alpha y \in V$ となる。以上により V には和とスカラー倍が定義されている。以下 (1)–(8) の成立を示す。 $y, y_1, y_2, y_3 \in V, \alpha, \beta \in K$ とする。

(1) 任意の $x \in \mathbf{R}$ に対し $((y_1 + y_2) + y_3)(x) = (y_1 + y_2)(x) + y_3(x) = (y_1(x) + y_2(x)) + y_3(x) = y_1(x) + (y_2(x) + y_3(x)) = y_1(x) + (y_2 + y_3)(x) = (y_1 + (y_2 + y_3))(x)$ となるので、 $(y_1 + y_2) + y_3 = y_1 + (y_2 + y_3)$ となる。

(2) 任意の $x \in \mathbf{R}$ について $(y_1 + y_2)(x) = y_1(x) + y_2(x) = y_2(x) + y_1(x) = (y_2 + y_1)(x)$ となるので、 $y_1 + y_2 = y_2 + y_1$ となる。

(3) 恒等的に零となる写像を z と書く。 $z'' - z' - 2z = z(=0)$ なので $z \in V$ となっている。 $y \in V$ を V の任意の関数とする。任意の x に対し $(y + z)(x) = y(x) + z(x) = y(x) + 0 = y(x)$ なので $y + z = y$ となる。

(4) $y \in V$ に対し $\tilde{y} = (-1)y$ と置くと $\tilde{y} \in V$ となる。任意の $x \in \mathbf{R}$ に対し $(y + \tilde{y})(x) = y(x) + \tilde{y}(x) = y(x) + (-1)y(x) = 0 = z(x)$ となるので $y + \tilde{y} = z(=0)$ となる。

(5) 任意の $x \in \mathbf{R}$ に対し $(\alpha(y_1 + y_2))(x) = \alpha((y_1 + y_2)(x)) = \alpha(y_1(x) + y_2(x)) = \alpha y_1(x) + \alpha y_2(x) = (\alpha y_1)(x) + (\alpha y_2)(x) = (\alpha y_1 + \alpha y_2)(x)$ となるので $\alpha(y_1 + y_2) = \alpha y_1 + \alpha y_2$ となる。

(6) 任意の $x \in \mathbf{R}$ に対し $((\alpha + \beta)y)(x) = (\alpha + \beta)y(x) = \alpha y(x) + \beta y(x) = (\alpha y)(x) + (\beta y)(x) = (\alpha y + \beta y)(x)$ となるので $(\alpha + \beta)y = \alpha y + \beta y$ となる。

(7) 任意の $x \in R$ に対し $((\alpha\beta)y)(x) = (\alpha\beta)y(x) = \alpha(\beta y(x)) = \alpha(\beta y)(x) = (\alpha(\beta y))(x)$ となるので $(\alpha\beta)y = \alpha(\beta y)$ となる。

(8) 任意の $x \in R$ に対し $(1y)(x) = 1y(x) = y(x)$ となるので $1y=y$ となる。

演習問題 2.3 次を示せ。

(1) ベクトル v_0 がゼロベクトルの性質を持てば $v_0 = 0$ である。(これからゼロベクトルは唯一つである事が分かる)

(2) v に対し逆元の性質をもつベクトル v_1 が存在すれば $v_1 = v' (= -v)$ である。(これから逆元は唯一つである事が分かる)

(3) ある 1 つのベクトル v に対し $v + w = v$ が成立すれば $w = 0$ である。

(1) v_0 がゼロベクトルの性質をもつとき $0 + v_0 = 0$ が成立する。このとき $0 + v_0 + v_0 + 0 = v_0$ となるので $v_0 = 0$ が分かる。

(2) v_1 が v の逆元の性質を持てば, $v + v_1 = 0$ となっている両辺に v' を加えると $(v + v_1) + v' = 0 + v' = v' + 0 = v'$ となるが, $(v + v_1) + v' = (v_1 + v) + v' = v_1 + (v + v') = v_1 + 0 = v_1$ となり $v_1 = v'$ となる。

(3) 両辺に v の逆元 v' を加えると $(v + w) + v' = v + v' = 0$ となる。一方 $(v + w) + v' = (w + v) + v' = w + (v + v') = w + 0 = w$ となり $w = 0$ となる。

演習問題 2.4 ベクトル空間 V の任意のベクトル v と任意のスカラー α に対し次が成立する事を示せ。

(1) $(-1)v = -v$

(2) $0v = 0$

(3) $\alpha 0 = 0$

(1) $v + (-1)v = 1v + (-1)v = (1 - 1)v = 0v = 0$ (ここで (2) を仮定した) となるので, 演習問題 2.3(2) より $(-1)v = -v$ となる。

(2) $v + 0v = 1v + 0v = (1 + 0)v = 1v = v$ となる。演習問題 2.3(3) より $0v = 0$ となる。

(3) $\alpha 0 = \alpha(0 + 0) = \alpha 0 + \alpha 0$ となる。演習問題 2.3(3) より $\alpha 0 = 0$ となる。